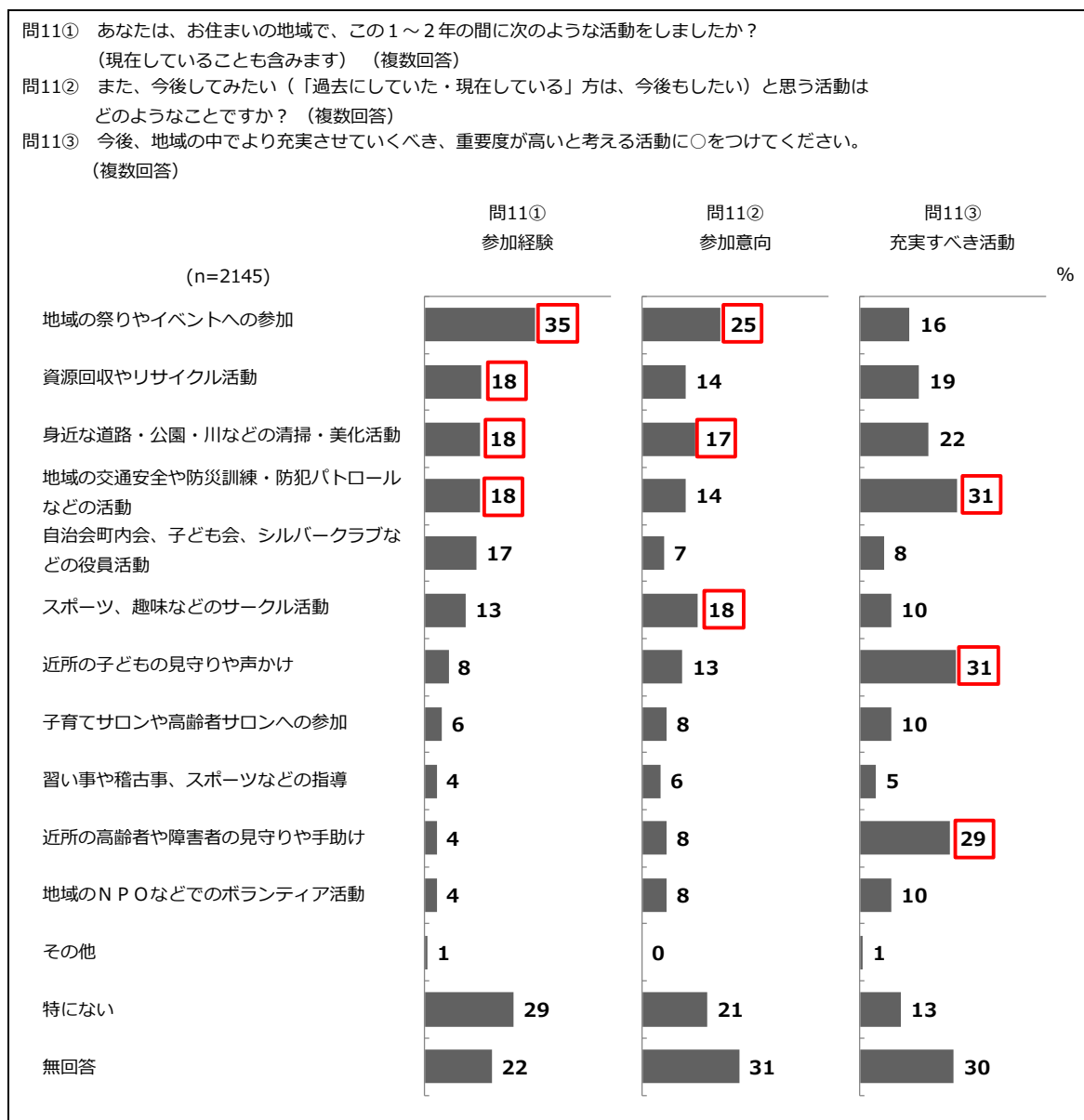


## 4 地域活動

### (1) 地域活動参加経験・参加意向・充実すべき地域活動

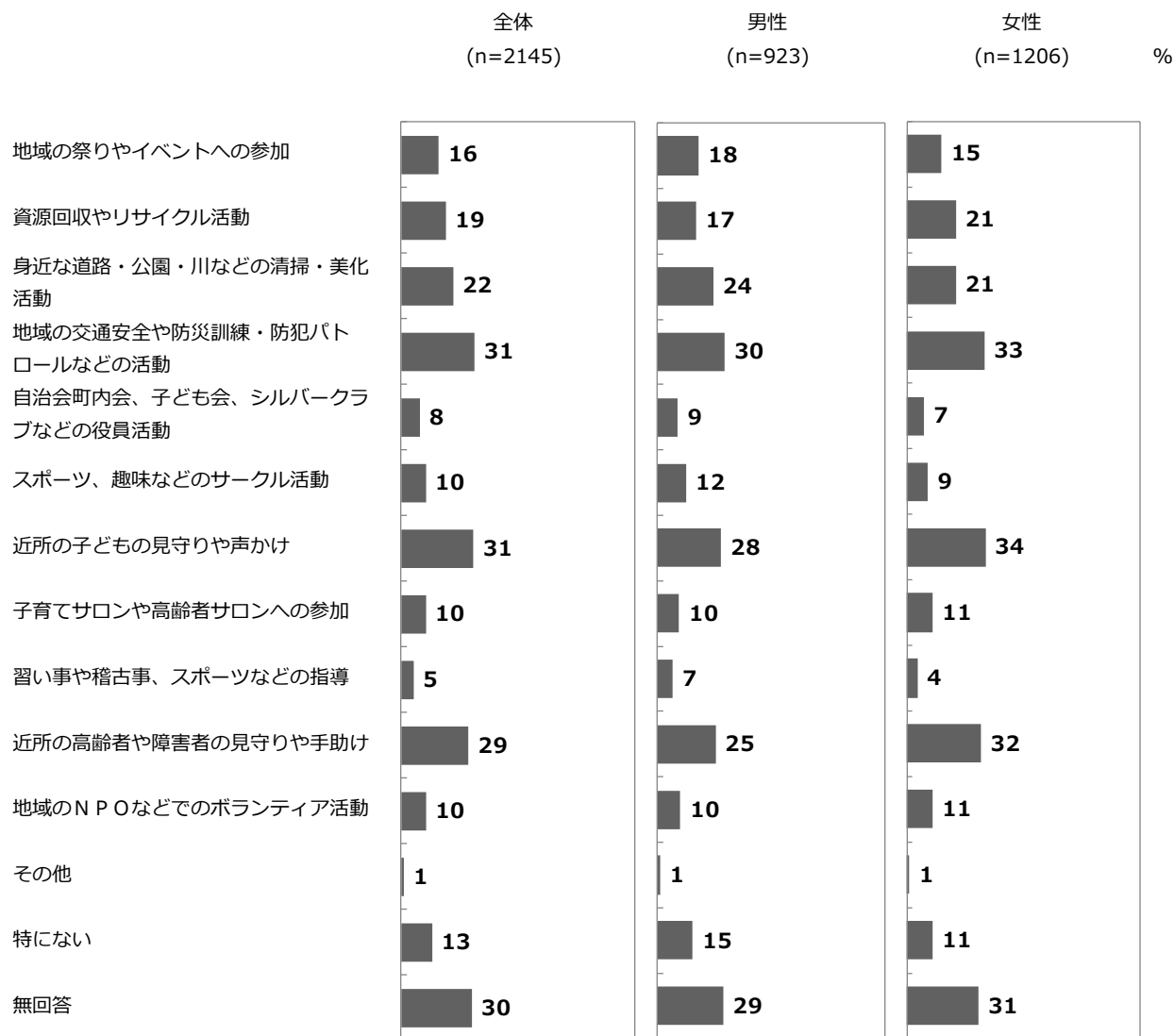
- この1～2年で活動したことがあるもの（参加経験）は、「地域の祭やイベントへの参加」が35%で最も高く、次いで「資源回収やリサイクル活動」、「身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動」、「地域の交通安全や防災・防犯パトロールなどの活動」（3つとも18%）でした。
- 参加意向でも「地域の祭やイベントへの参加」（25%）が最も高くなっています。2番目に高いのは「スポーツ、趣味などのサークル活動」（18%）でした。「近所の子どもの見守りや声かけ」や「スポーツ、趣味などのサークル活動」など参加経験の回答の低かった項目で参加経験を上回る参加意向がありました。
- 地域活動の充実すべき活動は、「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」（31%）、「近所の子どもの見守りや声かけ」（31%）、「近所の高齢者や障害者の見守りや手助け」（29%）などが高くなっており、地域の安全安心や助け合いに対する地域活動の役割が期待されています。



### [性別 充実すべき地域活動]

- ・性別で見ると、男女共に「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」が最も高く（男性30%、女性33%）、安全への関心が高いことが分かります。
- ・女性は、「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」に加えて「近所の子どもの見守りや声かけ」（34%）や「高齢者や障害者の見守りや手助け」（32%）も高く、子どもや高齢者・障害者の見守りが地域の重要な役割であると考えています。

問11③ 今後、地域の中でより充実させていくべき、重要度が高いと考える活動に○をつけてください。（複数回答）



## 誰もが安心して生活できるまちへ～地域の皆で助け合いの地域づくりを進める～

### 港南ひまわり83運動

港南ひまわり83運動は、「小学生が登下校する時間帯（8時と3時）を目安に、散歩や庭先の掃除、買い物など外での用事を行い、地域全体で子どもたちを見守ろう」という活動で、地域に徐々に広がっています。



港南ひまわり83運動のマスコットキャラクター

### 見守り協力事業者

ふだんの暮らしの中で「あいさつ」や「声かけ」をきっかけに、事業者の皆さんにも、ゆるやかな見守りに協力していただいています。



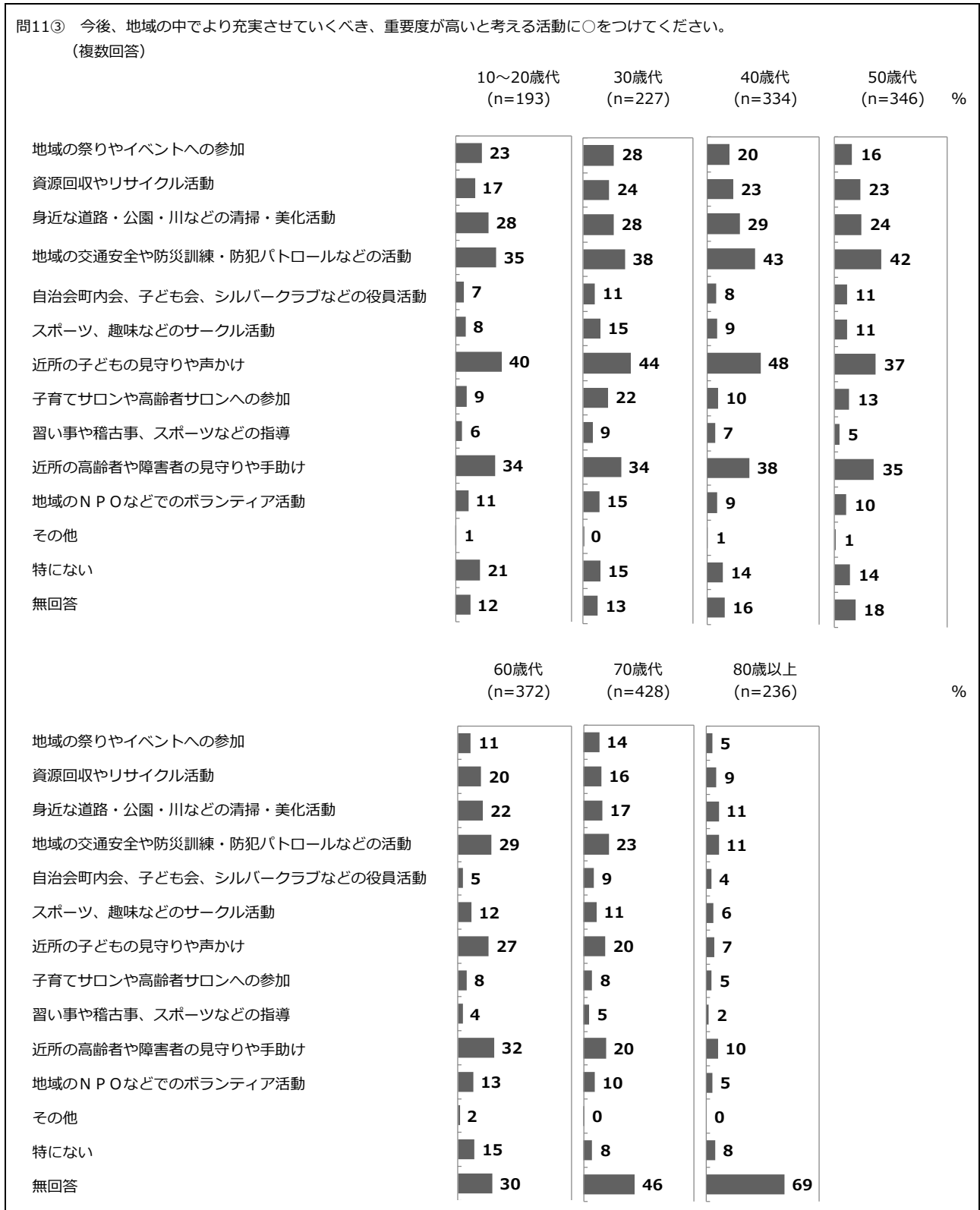
見守り協力事業者のステッカー

港南区見守り協力事業者

検索

[年代別 充実すべき地域活動]

- ・「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」は、10歳代から50歳代で4割近い回答があり、若い世代で地域の安全性が重視されています。
- ・「近所の子どもの見守りや声かけ」は10歳代～50歳代で、「高齢者や障害者の見守りや手助け」は40歳代～60歳代で高い回答率になっています。



## (2) 地域活動参加のきっかけ

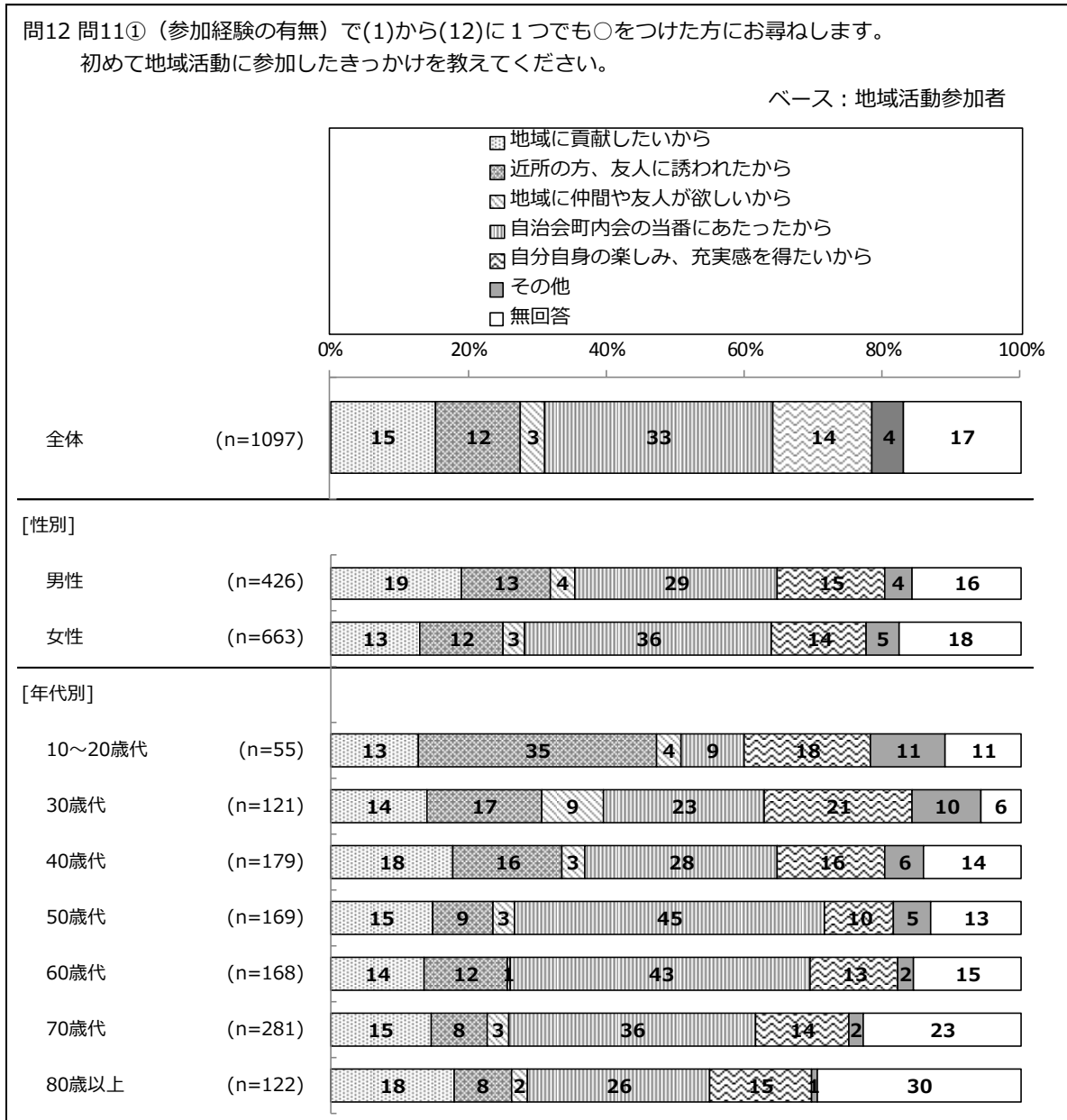
- 初めて地域活動に参加したきっかけは、「自治会町内会の当番にあたったから」(33%)が最も多く、「地域に貢献したいから」(15%)、「自分自身の楽しみ、充実感を得たいから」(14%)がこれに次いでいます。

### [性別 地域活動参加のきっかけ]

- 男女共に「自治会町内会の当番にあたったから」が最も多くなっています。男性は、「地域に貢献したいから」が女性より6ポイント高く、女性は、「自治会町内会の当番にあたったから」が男性より7ポイント高くなっています。

### [年代別 地域活動参加のきっかけ]

- 30歳以上では「自治会町内会の当番にあたったから」が主なきっかけとなっており、特に50歳代、60歳代では4割以上が回答しています。
- 10～20歳代では「近所の人、友人に誘われたから」(35%)が最も多く、他の世代で「自治会町内会の当番にあたったから」が多いのと比べて回答の傾向が異なります。

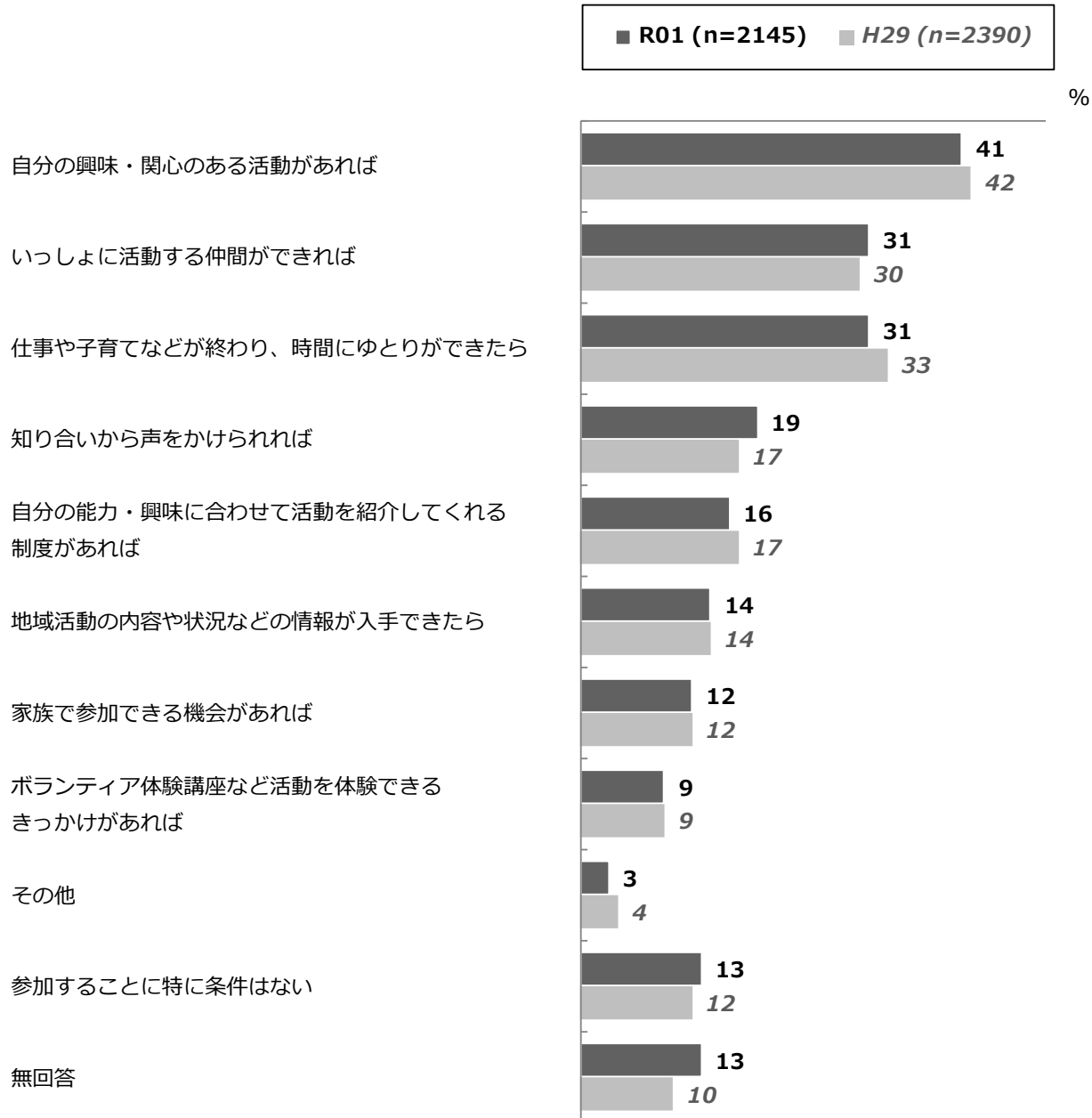


### (3) 地域活動への参加条件

- ・地域活動への参加条件は、「自分の興味・関心のある活動があれば」が41%と最も多く、次いで、「いっしょに活動する仲間ができれば」が31%、「仕事や子育てなどが終わり、時間にゆとりができたなら」が31%と続いています。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はありませんが、「いっしょに活動する仲間ができれば」（前回比 +1 ポイント）、「知り合いから声をかけられれば」が増えています（同 +2 ポイント）。

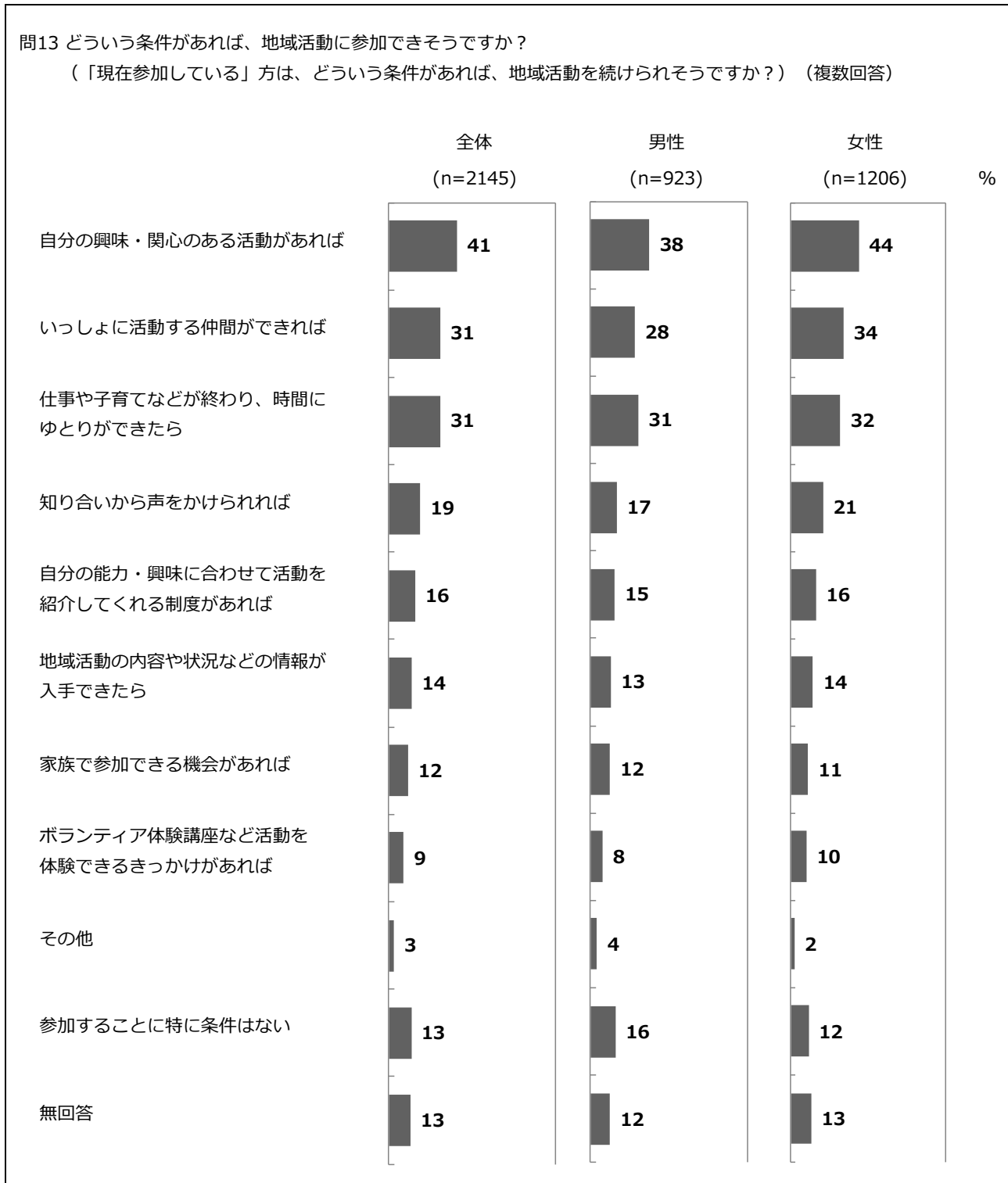
問13 どういう条件があれば、地域活動に参加できそうですか？

（「現在参加している」方は、どういった条件があれば、地域活動を続けられそうですか？）（複数回答）



[性別 地域活動への参加条件]

- ・女性は、「自分の興味・関心のある活動があれば」、「いっしょに活動する仲間ができれば」が男性よりもそれぞれ6ポイント高くなっています。



### [年代別 地域活動への参加条件]

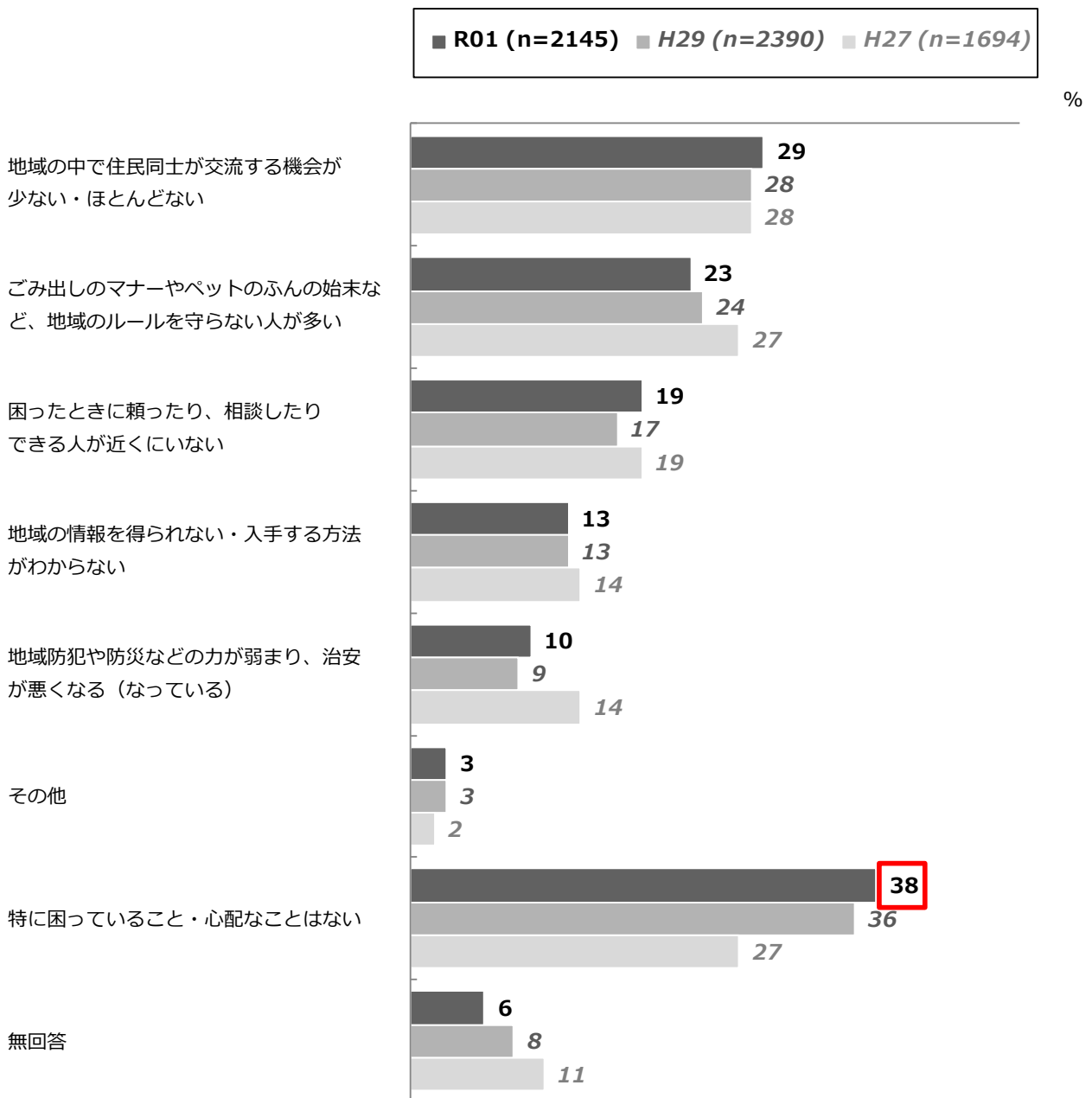
- 10歳～60歳代は、「自分の興味・関心のある活動があれば」、「仕事や子育てなどが終わり、時間にゆとりができたなら」、「いっしょに活動する仲間ができれば」が共通して参加条件の上位3項目に入っています。中でも30歳代～50歳代は、「仕事や子育てなどが終わり、時間にゆとりができたなら」が最上位の回答になっています。また、10～20歳代、60歳代～80歳以上は、「自分の興味・関心のある活動があれば」が最上位の回答になっています。
- 70歳代と80歳以上では、無回答が他の世代よりも多くなっています。



#### (4) 地域コミュニティに関する困り事や心配事

- ・地域コミュニティに関して困っていることは、「特に困っていること・心配なことはない」が38%で最も多いものの、困りごととして、「地域の中で住民同士が交流する機会が少ない・ほとんどない」(29%)と「ごみ出しのマナーやペットのふんの始末など、地域のルールを守らない人が多い」(23%)を多くの方が上げています。
- ・これまでの調査と比較すると、大きな変化はありませんが、「地域の中で住民同士が交流する機会が少ない・ほとんどない」(前回比 +1ポイント)は少し増えている一方で、「特に困っていること・心配なことはない」と回答する人が年々増加しています。

問14 近隣との関係が希薄化し、地域活動の担い手不足などにより地域コミュニティ(地域社会)の力が弱まっていると言われていますが、このような中であなたが困っていること、心配なことはどのようなことですか？(複数回答)

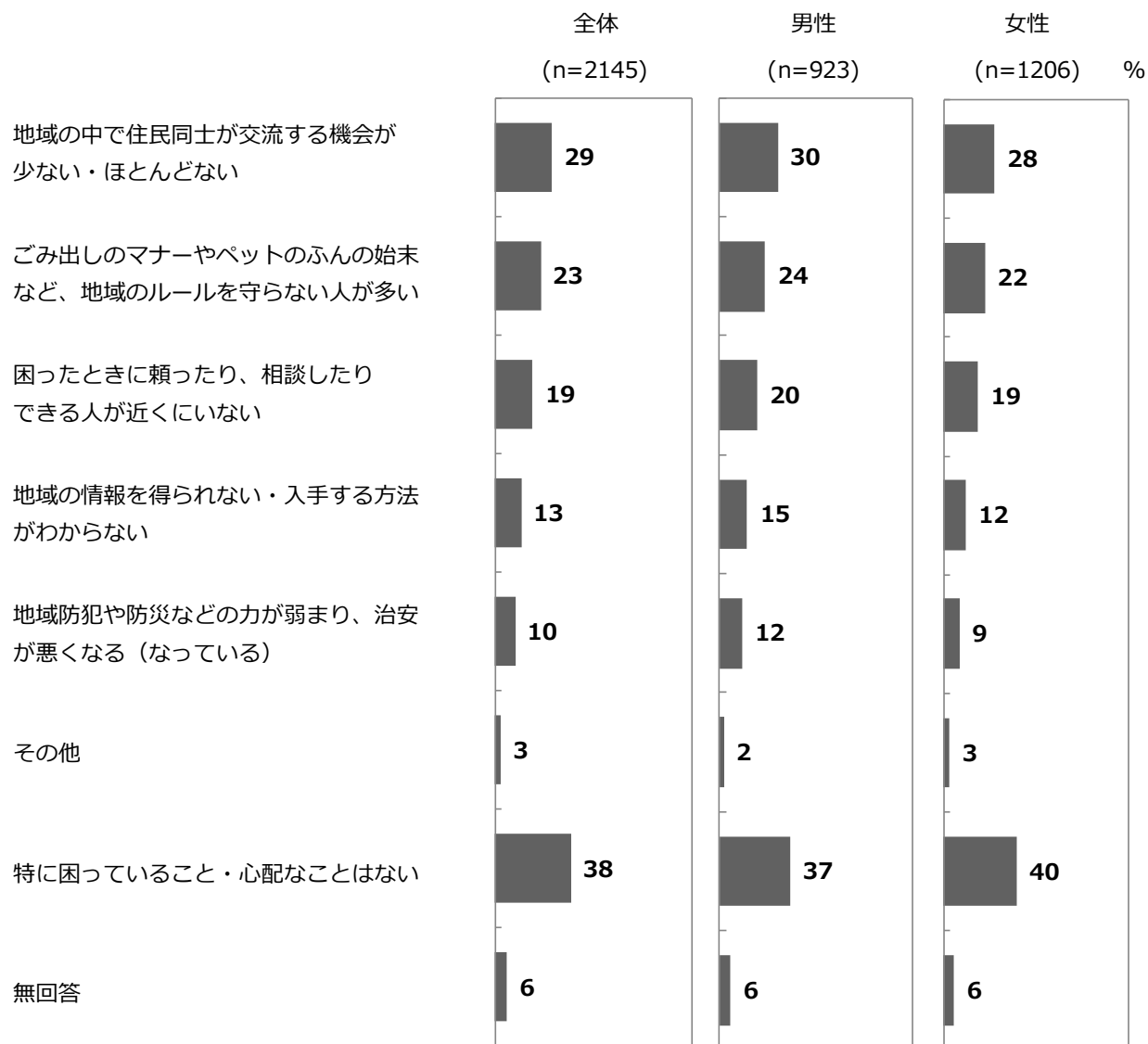




[性別 地域コミュニティに関する困り事や心配事]

- ・「特に困っていること・心配なことはない」（及び「その他」除く）を除いた項目で、男性は女性を上回っています。
- ・「特に困っていること・心配なことはない」は女性の方が3ポイント高くなっています。

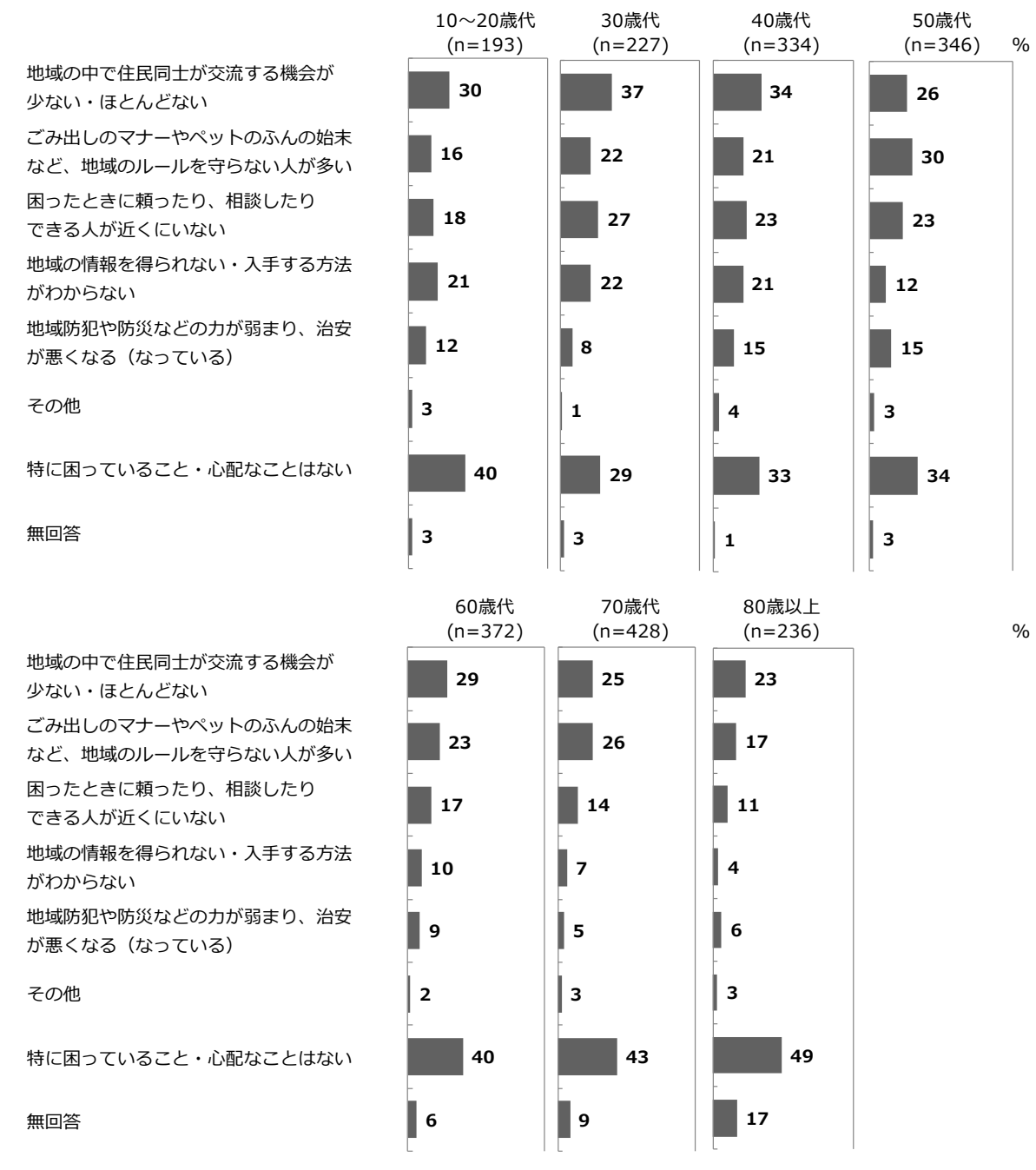
問14 近隣との関係が希薄化し、地域活動の担い手不足などにより地域コミュニティ（地域社会）の力が弱まっていると言われていますが、このような中であなたが困っていること、心配なことはどのようなことですか？（複数回答）



[年代別 地域コミュニティに関する困り事や心配事]

- ・「地域の情報を得られない・入手する方法がわからない」が、30歳代（全体より+9ポイント）、10～20歳代、40歳代（全体より+8ポイント）で高くなっています。また、「地域の中で住民同士が交流する機会が少ない・ほとんどない」も、30歳代（全体より+8ポイント）、40歳代（全体より+5ポイント）高くなっていることから、30歳代、40歳代は、他の世代より地域での情報を得る方法がない、交流の機会がないことが分かります。
- ・30歳代は「困ったときに頼ったり、相談できる人が近くにいない」（27%）も全体より8ポイント高く、地域とのつながりが無く不安に思っていることが多いことが分かります。

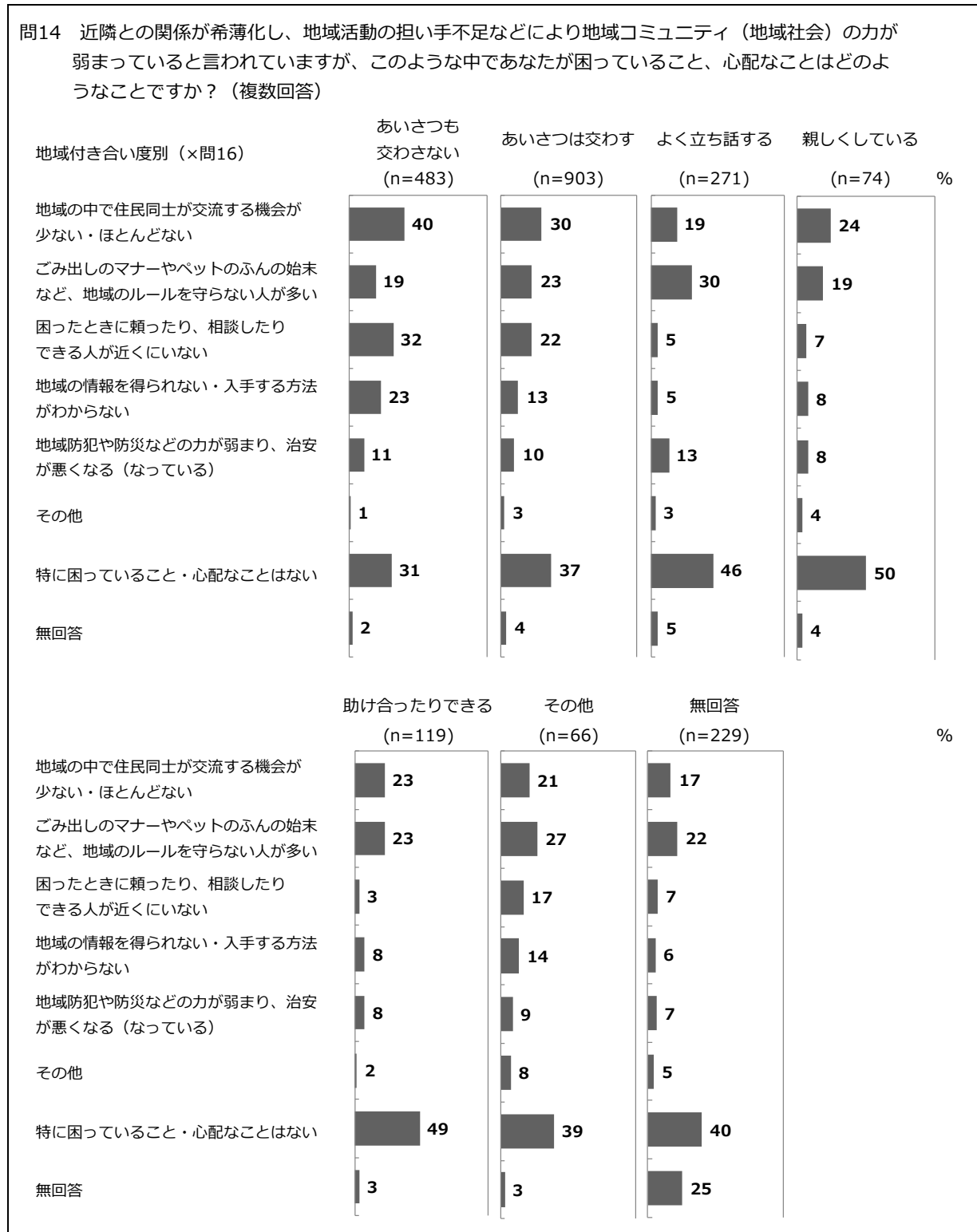
問14 近隣との関係が希薄化し、地域活動の担い手不足などにより地域コミュニティ（地域社会）の力が弱まっていると言われていますが、このような中であなたが困っていること、心配なことはどのようなことですか？（複数回答）



[地域とのつきあい度別 地域コミュニティに関する困り事や心配事]

- ・地域でのつきあいの少ない人\*は、「困ったときに頼ったり、相談できる人が近くにいない」の回答が全体よりも13ポイント、「地域の中で住民同士が交流する機会が少ない・ほとんどない」が全体よりも11ポイント、「地域の情報を得られない・入手する方法がわからない」が全体よりも10ポイント高くなっています。
- ・一方、地域とのつきあいが「一緒に買い物に行ったり食事をするなど、気のあった人と親しくしている」人や「相談したり助け合ったりできる人がいる」人は、「特に困っていること・心配なことはない」がそれぞれ50%、49%と高くなっています。

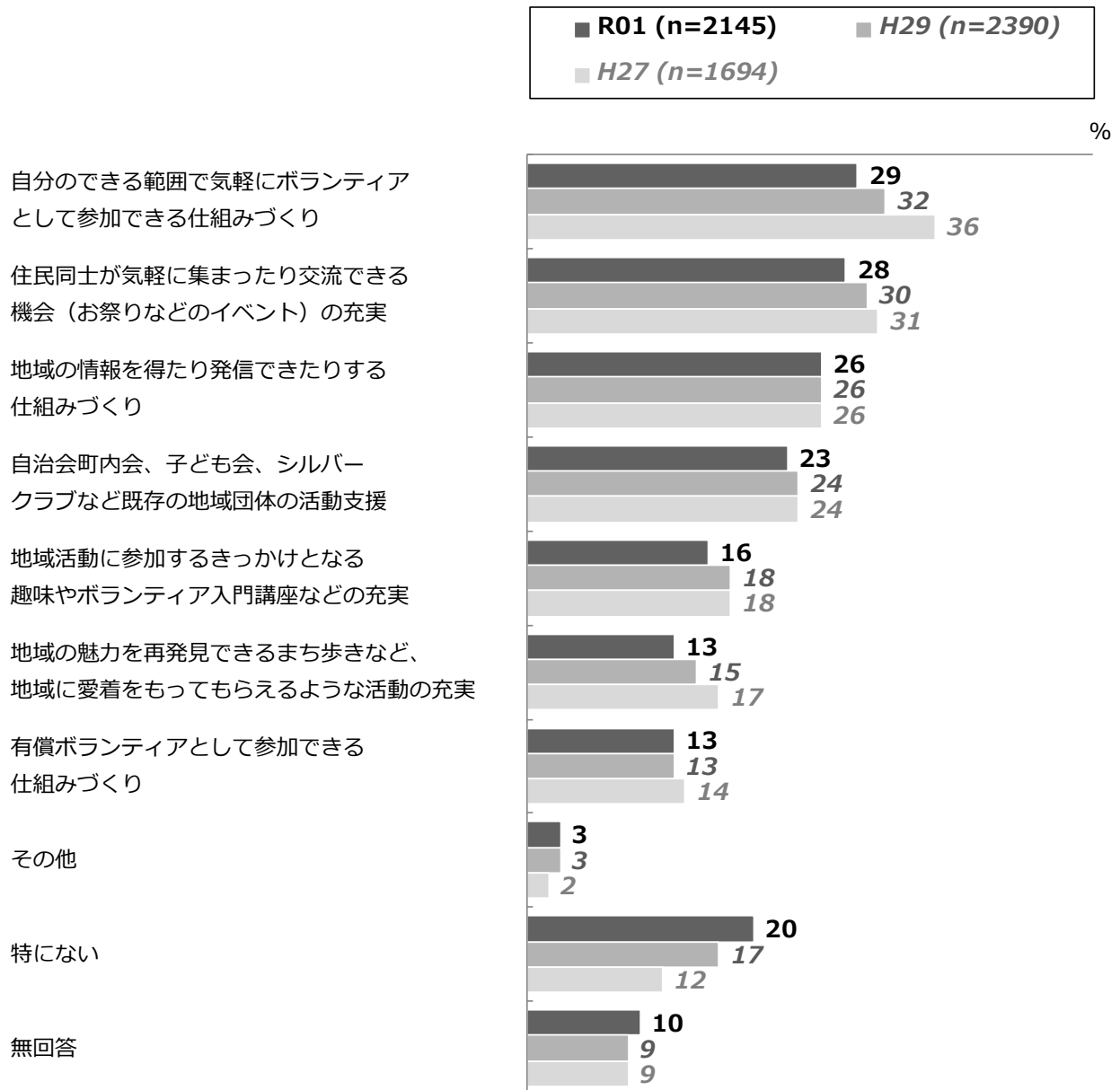
\*：問16で「顔もよく知らない人が多く、ほとんどあいさつも交わさない」と回答した人



(5) 地域活動充実のために必要なこと

- ・ 地域活動充実のために必要なこととしては、「自分のできる範囲で気軽にボランティアとして参加できる仕組みづくり」(29%)が最も多く、「住民同士が気軽に集まったり交流できる機会の充実」(28%)、「地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり」(26%)、「自治会町内会、子ども会、シルバークラブなど既存の地域団体の活動支援」(23%)と続いています。
- ・ これまでの調査と比較すると、全体的な傾向にあまり変化はありません。

問15 地域コミュニティ（地域社会）を強化し、地域での活動を充実させていくために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか？（複数回答）



**[性別 地域活動充実のために必要なこと]**

- ・男性では「住民同士が気軽に集まったり交流できる機会の充実」(31%)が最も多く、また女性よりも5ポイント高くなっています。
- ・女性は「自分のできる範囲で気軽にボランティアとして参加できる仕組みづくり」(31%)が最も多くなっています。「地域活動に参加するきっかけとなる趣味やボランティア入門講座などの充実」も男性より4ポイント高くなっており、地域活動に新たに参加する仕組みへの関心が高くなっています。

問15 地域コミュニティ（地域社会）を強化し、地域での活動を充実させていくために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか？（複数回答）

